



創誠健和



旭川中学校 学校通信 9月号

第2回あさひやま学校運営協議会

令和4年9月27日発行



旭川中、旭川小及び旭川第1小で設置する学校運営協議会を開催しました。あさひやま学校運営協議会（佐伯教道協議会会長）は、保護者や地域住民の学校運営への参画、家庭や地域の教育力の向上、子どもたちの豊かな学びと育ちの環境づくりを目的として開催しています。会議には、生徒会長も出席し、今年度前期の取り組みを交流しました。生徒会の平山会長からは、「街角ギャラリー」や「花壇整備」など、地域活動に積極的にボランティアで参加する中、学校と地域の距離が縮まっていることが紹介されました。

また、PTAを代表して濱会長からは、「今、家庭でできるIUP」～第2弾～について紹介され、「我が家の親子エール」等々、アンケート調査の結果を交えて紹介されました。第3回協議会は、年明けの2月を予定しており、各協議会委員による地域創生に向けた今年度の実践を交流することとしています。

旭中生の活躍

令和4年度の全国中学校体育大会は、北海道東北地方を会場に熱戦が繰り広げられましたが、我が校より、女子ソフトテニス部（1ペア）・男子卓球部（団体戦・個人戦2名）が参加し、北海道の代表として旭中の名を全国に届けました。加えて、吹奏楽部が「北海道吹奏楽コンクール」で2年連続のGOLD金賞を受賞し、「東日本学校吹奏楽大会」（10月8日東京都府中市開催）に出場します。さらに、卓球部は、1・2年生の新チームとなり、全日本卓球選手権大会（カデットの部）で、野原暖流さんが優勝、浦崎陽さんが準優勝、同じく、ダブルス野原・浦崎組で優勝し、それぞれ10月28日から奈良県で開催される全国大会に出場します。旭中生の目覚ましい活躍を本当に嬉しく感じております。大会出場に関わり、市や部活動育成会から助成してきましたが、不足分については、同窓会のご協力もいただいております。このような中、この度の吹奏楽部と卓球部の全国大会出場はもとより、今後の部活動運営への支援のため、部活動育成会が主体となり、同窓会等の皆様にも協力を得ながら、募金活動を行っていただいておりますことに感謝を申し上げます。今後も、ご支援に応えるべく、生徒の豊かな成長のため、全力でサポートして参ります。変わらぬ、ご協力をお願いいたします。



【ご支援に感謝】 壮行演奏会：10月2日（日）開場13:00開演13:30（30分程度） 旭川中体育館 入場無料

教育実習生の皆さん

優しく爽やかで、新しい風をありがとう！

2学期のスタートから約一月間、4名の大学生が、本校で教育実習を行いました。本校の印象、そして、旭中生への感謝の気持ちが表れる挨拶が届きました。



廣中風太郎

雰囲気の良い学校というのが第一印象でした。実習期間、授業中はもとより、休み時間や部活動を通して、生徒とふれ合う中で、とても素直で優しい学校だと再認識しました。子どもたちには、大きな夢や目標に向かって直向きに頑張してほしいと心の底から思っています。私の教育実習が旭川中学校で、本当に良かったと感じています。あっという間の4週間でした。

授業では、級友と意見を交流しながら取り組んでいる様子が、休み時間では、友人同士で仲良く談笑している様子が、いつも朗らかな雰囲気を感ずることができ、私自身もついつい笑顔になりました。今後も旭川中の皆さんが、秋フェスに向かって、そして日常の学校生活の中で、協力しながら、高め合い、支え合う姿が目に見えます。



二村 真由



村上 琴菜

旭川中での毎日は、教職員をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様の想いがしっかりと息づいた、子どもが安心して過ごすことの出来る心地よい環境であることを実感しました。大学等での学びから、今、「学校」には変化が求められていると教えられてきましたが、旭川中学校がまさにその最先端を行く学校であると思っています。

挨拶と返事が、元気で素晴らしいと感じていました。また、気配りができる生徒の多さに、優しさを感じました。この4週間、居心地の良い時間を過ごすことができ、素晴らしい生徒たちに感動の連続でした。皆さん方中学生は、これから何にだってチャレンジでき、何にでもなることが出来る可能性を秘めています。大志を抱いて、夢に向かって頑張してほしいと思います。



落合 優真

「若い教師の条件」

柿原澄夫著「至誠」より

若い教師は、毎日の出勤が楽しみです。若い教師は、道ばたで子どもたちに元気よく声をかけます。

若い教師は、何時も子どもたちの作品やノートのカバンいっぱい詰めています。若い教師は、職員室よりも教室や体育館、グラウンドの方が好きです。若い教師は、まず子どもたちの安全を第一に考えます。若い教師は、自分を好いてくれるかを心配します。以下、全17項目にわたって若い教師について書かれています。この言葉を改めて読み返すとき、教育実習や初任時代が懐かしく思い出されます。

いつの時代も基本的にはこの「若い教師の条件」に書かれていることが当てはまると思いますが、今の時代の教師には、これ以上に求められるものが増えてきていると感じています。教師に憧れ、本物の教師になるべく、努力を続ける教師の卵に、そして、全ての教師に今後もエールを贈り続けたいと思うのです。

こしらかわ なおみ

古白川 直美教諭が着任

9月26日(月)、古白川直美教諭が着任しました。これまで、藤星高校や旭川南高校等での講師、市内中学校での初任者指導講師など、多くの職歴を持つベテランの英語教諭です。

1学年に所属し、英語や特別支援学級の担当もお願いしています。保護者はもとより、地域の皆様にも温かいご支援をお願いいたします。

生徒・保護者の皆様

この度、ご縁があり、旭中で勤務させていただきます。1学年所属、英語とそよかぜ学級を担当します。私はこれまでに、英会話教室や市内の中学校、高等学校で英語指導に携わってきました。イギリスに留学していたこともあり、自分自身が感じてきた英語でのコミュニケーションの楽しさを、授業を通して生徒に伝えることが出来ればと思っています。よろしくをお願いいたします。